

【資料3-2】

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ 達成 = 令和3年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 未達成 A = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、令和4年度中に目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 B = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、今後数年程度で目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 C = 上記に該当せず、現時点において、今後も令和3年度の目標値に達することが難しいもの

基本 目標	基本的 方向	(a) 数値目標 重要業績評価指標 (KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづ くりの 指標	(e) 男女共 同参画 の指標	(e) 実績					(f) 令和3年度 目標	(f) 評価				
		No.	指標名				基準値	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績		令和3年度 実績	達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)	
							達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)								
1	内発的産業の振興 による安定した雇用の創出	①	従業者数 (経済センサス)	-			全産業 14,409 (民営 13,451) 人 (平成26年)	- 人	- 人	- 人	- 人	13,750 人	全産業 15,267 人				
		(1)	地域資源を活かした 内発的産業の振興														
		1	市内園芸産品の販売額	農林振興課				463,000 千円 (平成26年度)	450,000 千円	430,013 千円	508,555 千円	497,204 千円	424,172 千円	530,000 千円	未達成B	令和3年度は、凍霜害による被害が発生し、梨た で大きく販売額を落としたことや、新型コロナウイルス 感染症等の影響もあり、販売額が前年度を下 回った。 販売額 △73,032千円(前年比較) 【令和3年度実績内訳(令和2年度実績)】 ・JAみやぎ仙南(角田市)園芸部会の販売実績 295,281千円(345,212千円) ・市内直売所(あぐりっつ等13カ所)の販売実績 57,492千円(76,052千円) ・道の駅(市内生産者) 71,399千円(75,940千円)	新規就農者の増加に向けた取り組みや、既存農 家の生産拡大に資する支援を行うとともに、道の駅 を活用した農産物の生産・販売の拡大を目指す。 また、令和3年度で凍霜害により大きな被害が あった梨農家に対し、令和4年度で病害虫防除の ための費用について助成を行っている。 その他、自然災害等に備え、収入保険や果樹共 済の加入に係る経費の助成を始めており、セーフ ティネットの加入者の増加を図っている。
		2	遊休施設のリノベー ションの件数 【累計】	まちづ くり政 策課			- (平成26年度) 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	達成	平成28年度の創業支援事業で、民間の遊休施設 (コワーキングスペースの2階)を改修し、起業・移 住希望者等の滞在施設としてゲストハウスを整備 した。	交流人口の拡大、産業の振興、雇用の創出等につ ながる新たな活用について研究を進める。
		(2)	市内企 業への 支援に よる企 業の強 化と雇 用の拡 大														
		3	市内製造業の従業者 数 (経済センサス-基礎調査 又は工業統計調査)	商工観 光課				5,735 (平成26年度) 人	5,772 人	6,089 人	6,116 人	5,682 人	- 人	6,100 人	未達成B	令和3年は工業統計が実施されていないため評 価できず。 令和2年度工業統計調査結果(令和3年8月公表・ 地域別統計表データ)では、従業員数5,862人と なっており、人数が減少に転じている。電子部品・ デバイス、電子回路製造業などの事業所で従業員 数が減少して達成には至らない結果となった。 工業統計は経済構造実態調査に包含され、製造 業事業所調査として実施されることになった。	・新たな産業用地造成事業を進めるとともに、新 規の企業誘致や既存企業の工場増築などの経営 向上を推進し、常用雇用の増加を推進する。 ・人手不足等で従業員数を充足できていないとい う誘致企業等からの声もあることから、地元企業へ の就職向上のため、高校新卒者の就職ガイダンス やハローワークの採用情報提供などに取り組 む。
	(3)	足腰の 強い「 農林業 」の再 生と生 産物の 高付加 価値化															
		4	農業生産法人の数 【累計】	農林振 興課	○		11 (平成26年度) 法 人	14 法 人	15 法 人	16 法 人	17 法 人	17 法 人	18 法 人	未達成B	現状で将来的に法人化を検討している経営体 があり、県と連携して営農構想の策定支援業務等 を進めている。 【令和3年度実績内訳】 ・活動中の認定農業者の法人数 17(前年比較 ±0)	①ほ場整備事業の進捗に伴う農地の集約や、持 続的な農業経営の促進を図るため、今後も法人化 を推進する。 ②関係機関との連携により、法人化に取り組む農 業者に対し支援を行う。 ③農業経営の法人化支援事業補助金の活用によ り、財政面からの法人化支援を行う。	
		5	認定農業者などの数 【累計】	農林振 興課			302 (平成26年度) 人	312 人	292 人	273 人	269 人	250 人	312 人	未達成C	【令和3年度実績内訳】 ・認定農業者数 170(前年比較 -7) ・認定新規就農者数 5(前年比較 +1) ・中核的担い手数 75(前年比較 -13)	新規で認定を受ける個人や法人が出てきている 一方で、高齢のために認定更新をしない方も多く、 全体的には減少となっている。 国や県の支援策などを活用し、認定農業者へのサ ポートを充実させ、中核的担い手や新規就農者を 増やし、認定農業者への増加へ繋げていく。	
		6	「こめ・まめ・うめ」を 活用した新たな特産 品の開発数 【累計】	商工観 光課			- (平成26年度) 品	10 品	18 品	24 品	28 品	28 品	25 品	達成	道の駅かくたの開業により新たな特産品の開発が 促進された。	①道の駅かくたを拠点として引き続き商品開発を 促進させる。 ②市内事業者にとわらずにOEM(商品開発製造 委託)による商品開発を並行して推進する。	

【資料3-2】

※ 達成 = 令和3年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 未達成 A = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、令和4年度中に目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 B = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、今後数年度程度で目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 C = 上記に該当せず、現時点において、今後も令和3年度の目標値に達することが難しいもの

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標	基本的方向	数値目標 重要業績評価指標(KPI)		担当課	長総 まちづ くりの 指標	男女共 同参画 の指標	(e)					令和3年度 目標	(f)				
		No.	指標名				基準値	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績		令和3年度 実績	達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)	
																	達成状況 (※参照)
	(4) 次世代成長産業の育成支援	7	創業支援事業計画に基づく創業支援を受けた創業者数【累計】	商工観光課	○		- (平成26年度)	3	5	5	5	7	7	人	達成	創業者予備軍を発掘し、ビジネススクールや伴走型支援などにより、創業へ向けた支援を実施している。また、支援を受けた創業者に対し優遇措置を実施している。 商工会・創業支援事業者によるビジネススクール、伴走型支援事業等を実施した。ビジネススクール受講者から2名が起業した。 【創業支援内容及び受講者】 ・ビジネススクール 19名 ・伴走型支援 2名 ・コミュニティ構築 6名 【創業者への優遇措置】 ・登記時の登録免許税の軽減 ・創業関連保証の特例	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、今後も関連機関による創業へ向けた支援を実施し、創業を実現する。
2	地域資源を活かした移住・定住の推進	②	転入者数 (住民基本台帳に基づく人口移動調査年報)	-			925 (平成26年)	920	919	887	863	828	1,000	人			
	(1) 移住・定住等の推進	8	地域おこし協力隊員の移住・定住率【累計】	まちづくり政策課			- (平成26年度)	-	-	100	100	67	50	%	達成	①令和3年度までに活動を終了した3名中2名が引き続き市内に定住しており、定住率は66.6%である。 ②令和3年4月に1名、9月に1名、11月に1名採用している。1名は会計年度任用職員として道の駅に配属、2名は活動支援団体に所属しゲストハウスの運営・管理のほか、SNSを活用した情報発信等を行っている。	令和3年9月に採用した1名は、令和4年4月から活動支援団体を移して活動を開始している。地域おこし協力隊の活動計画を把握し進捗状況の確認に努めるとともに、今後も地域資源を活かした活動の展開を支援していく。
		9	住宅取得助成件数	まちづくり政策課			43 (平成26年度)	67	78	-	-	-	-	件		平成30年度にて事業終了。	
		10	市ホームページへのアクセス件数	総務課			193,344 (平成27年度見込)	199,418	180,379	316,279	1,066,960	2,405,612	203,000	件	達成	安全・安心メール、SNS、さらに広報紙におけるQRコードの活用により、市ホームページとの連携を強化したことで、情報発信力の向上を図った。	情報発信に係る各課との連絡体制を見直すなど、一体的な広報活動を推進し、利用者のニーズに合ったタイムリーな情報発信に努める。
		11	空き家改修助成件数【累計】	まちづくり政策課			- (平成26年度)	10	14	-	-	-	-	件		平成30年度にて事業終了。	民間事業者と連携しながら、空き家の有効な活用方法を検討していくとともに、情報発信体制を整えていく。
		12	結婚新生活支援事業数	まちづくり政策課			- (平成30年度)	-	-	18	14	15	20	件	未達成A	目標件数に到達しなかった。 新型コロナウイルス感染症の影響が長引いており、全国的に婚姻数が減少していることが要因と考えられる。	引き続き、全戸配布やホームページ、フリーペーパー、SNS等を活用し、情報発信を図り制度の認知度を高めよう努める。
		13	市営住宅の水洗化戸数【累計】	都市整備課			156 (平成26年度)	224	235	-	-	-	-	戸		平成30年度にて事業終了。	公営住宅等長寿命化計画に基づき、関ノ内住宅から長寿命化に対応した改修を行う。

【資料3-2】

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ 達成 = 令和3年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 未達成 A = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、令和4年度中に目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 B = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、今後数年度程度で目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 C = 上記に該当せず、現時点において、今後も令和3年度の目標値に達することが難しいもの

基本目標	基本的方向	(b) 数値目標 重要業績評価指標(KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづくりの 指標	(e) 男女共 同参画の 指標	(e) 実績値					令和3年度 目標	(f) 評価			
		No.	指標名				基準値	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績		令和3年度 実績	達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)
(2) 地域資源を活かした観光振興と交流人口の拡大		14	道の駅かくだの入込客数	商工観光課			- (平成26年度)	-	-	1,012,884	759,712	722,621	1,000,000	未達成B	①令和元年東日本台風災害によるKスポ利用者の減少、令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響で来場者が減少している。 ②入込客数は買い物客数を基礎として推計。推計方法は、整備実施計画策定時に採用した「買い物客比率(来場者における買い物をする人の比率)」を用いる。(買い物比率/平日:20パーセント/土日休日:35パーセント)	①新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況の中、感染症の予防対策をしながら実施できる範囲でイベントを開催して、市の観光イベントと連携を図る。 ②市外からの来訪者を確保するため販売イベントの実施や商品の充実を図り誘客を行う。 ③集客力のあるKスポと連携を図り、道の駅を核としたスポーツによるまちづくりを推進していく。
		15	イベントやアンテナショップを活用したシティセールスの回数	商工観光課	○	4 (平成26年度)	6	5	3	0	0	6	未達成B	例年、友好都市である東京都目黒区や銀河連邦共和国としてつながりのある神奈川県相模原市のイベントへの参加や東京都池袋にある宮城県アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」に出店していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【令和3年度実績内訳】 ■東京都目黒区 ・目黒区民まつり(中止) ・自由が丘女神まつり(中止) ■東京都池袋 ・宮城県アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」(中止) ■神奈川県相模原市 ・相模原市民桜まつり(中止) ・澁水都市さがみはらフェスタ(中止)	新型コロナウイルス感染症の影響によりシティセールスを行う機会が減少しているが、感染症が沈静化すれば、友好都市や銀河連邦を中心に角田の物産を多く取り扱う株式会社まちづくり角田と連携し、PRを行っている。 また、現在参加しているイベント以外でも出店の機会を増やし、道の駅の売り上げを伸ばしていく。	
		16	かくだ牟宇姫ひなまつり集客数	商工観光課		1,000 (平成26年度)	1,200	1,700	0	2,024	3,022	2,500	達成	①新型コロナウイルス感染症の影響により体験イベントは開催しなかったが、郷土資料館で雛人形の展示などを行った。 ②ひなまつりのタイアップ企画として街中商店街を中心に40店の協力をいただき、「牟宇姫お買い物スタンプラリー」(期間:2月12日~3月13日)を開催し、837通からプレゼントへの応募があった。 ③展示の一つとして「ぬりえコンテスト」の作品を募集し、135通の応募があった。	①「牟宇姫」企画として郷土資料館の「企画展 雛人形」とタイアップして実施していき、市外を含めた集客内容及び企画を新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら実施していく。 ②まちなかイベントとして大切にしていきたいに商店街及び商店の巻き込みが重要となる。そのためにお買い物スタンプラリーは効果的と考えており、引き続き実施していく。	
		17	かくだスポーツビレッジの年間利用者数	生涯学習課		241,051 (平成26年度)	253,833	261,014	209,689	119,066	161,019	285,000	未達成B	前年度に引き続き引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため施設の閉鎖(8/27~9/12)や、利用制限を設けたが、利用者数が徐々に回復した。なお、交通公園自転車利用者数は遊具の新設や道の駅かくだの影響もあり、新型コロナウイルス感染症の発症前を超える人数となった。 【令和3年度実績内訳】(前年比 41,953人) ・総合体育館 35,522人(14,102人) ・澁水プール 83,262人(10,164人) ・陸上競技場 11,333人(4,162人) ・野球場 5,424人(2,102人) ・多目的運動場 2,909人(1,212人) ・多目的芝生広場 5,246人(1,666人) ・テニスコート 15,696人(3,424人) ・ゲートボール場 17人(17人) ・交通公園自転車 19,811人(5,822人) ・スポーツ交流館 6,799人(782人)	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、新たな利用者層(家族等での交通公園の利用者層、健康づくり・介護予防を目的とした利用者層、企業等の福利厚生等を目的とした利用者層など)の開拓を進め、新型コロナウイルス以前の利用水準までの回復を目指していく。	
18	総合案内表示板の設置数【累計】	商工観光課	○	4 (平成26年度)	5	6	-	-	-	-	-	(平成30年度で事業完了)	達成	平成27年度に策定した観光ルートサイン計画に基づき、平成29年度に観光ルートサイン設置工事を行い、平成30年度に道の駅かくだへの設置により完了した。	予定通りの設置基数となった。内容が古くならないよう随時メンテナンスを実施する。	

【資料3-2】

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

※ 達成 = 令和3年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 未達成 A = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、令和4年度中に目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 B = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、今後数年程度で目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 C = 上記に該当せず、現時点において、今後も令和3年度の目標値に達することが難しいもの

基本目標	基本的方向	(b) 数値目標 重要業績評価指標 (KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづくりの 指標	男女共 同参画 の指標	(e)					令和3年度 目標	(f)									
		No.	指標名				基準値	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績		令和3年度 実績	達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)						
																	達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)			
		19	体験型観光メニュー利用者数	商工観光課/まちづくり政策課/生涯学習課			-	(平成30年度) 人	-	人	-	人	148	人	1,515	人	2,068	人	1,940	人	達成	①令和3年度のグリーンツーリズム及びサイクルツーリズムは以下の通り実施した。全てのモニターツアーに多くの参加があった。また、参加者にモニターツアーに関するアンケート調査を行い、角田市の観光に対する意見が確認できた。 ・梅もぎ体験モニターツアー 37名 ・仙台年の餅やり体験と野菜収穫体験 16名 ・とうもろこしもぎとり体験 10名 ・秘伝豆もぎとり体験 0名 ・ねぎ収穫体験 924名 ・梨もぎとり体験 6名 ・納豆センター工場見学と里芋収穫体験 7名 ・サイクリングツアー 10名 ・みそ作り、冬野菜収穫体験モニターツアー 中止 ②Kスポと道の駅かくだが連携したスポーツ体験型事業を下記のとおり実施した。 ・ウォーキングステーション体験事業 106名 ・Kスポ健康ウォーキングコース体験教室10回173名 ・Kスポ健康教室体験事業 10回161名 ・親子運動あそび教室 20回211名 ③周遊型のモニターツアーについて、以下の通り実施した。 ・角田市周遊バスツアー＆お絵かきトレイン 20名 ・西根田んぼアート周遊バス「べっかくだバスポート券」9名 ※コロナで途中中止 ・角田で旬のねぎ収穫体験と歴史探訪 14名 ・角田・丸森の羅めくり角田市モニターツアー 21名 ・角田の魅力「親子で見つけ隊！角田の魅力はべっかくだ～バスツアー」19名 ・角田ずんだまつりシャトルバス運行 56名 ・ねぎまつりシャトルバス運行 268名 ※西根田んぼアート＆そば打ち体験「かくだ周遊観光ツアー」はコロナで中止
3	若い世代が子どもを産み育てやすい環境の整備	③	子育て支援の環境や支援に関して満足していると思う市民の割合 (角田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査)	-	○		15.6 (満足2.1 + やや満足13.5) (平成25年度) %	-	%	13.8 (満足2.2 + やや満足11.6) %	-	%	-	%	-	%	-	%	30.0	%		
	(1) 結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援や学校教育の充実	20	婚活イベントなどの開催数	生活環境課			5 (平成26年度) 回	12	回	9	回	-	回	-	回	-	回	-	回	(平成30年度で事業終了)	達成	平成30年度にて事業終了。 令和元年度から結婚に伴う経済的負担軽減の観点により「結婚新生活支援事業」(現:まちづくり政策課)へ移行した。
		21	第2子以降の出生数	子育て支援課			112 (平成25年) 人	78	人	82	人	77	人	70	人	73	人	140	人	未達成C	全体の出生数が減少傾向(平成26年度:159人⇒令和元年度:132人⇒令和2年度:120人⇒令和3年度:119人)にあり、かつ、全出生数に占める母35歳以上の割合が増加傾向(平成26年度:16.8%⇒令和元年度:26.5%⇒令和2年度:30.0%⇒令和3年度:24.3%)にあるため、第2子以降の出生について今後増加するかどうか懸念される。 ①子育て世代包括支援センター事業により、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を提供する。 ②自宅に居ながら、小児科医、産婦人科医に育児や疾病の相談をすること(オンライン相談)など、安心して産み育てるための体制を強化する。 ③小学校入学祝子育て応援券支給や、子ども医療費の所得制限の撤廃を実施するなど、保護者の経済的負担軽減を図っていく。 ④円滑な保育施設の経営を促進することにより、安心して子育てできる環境を整えていく。 ⑤本市で安心して出産育児が行えるよう、小児科医や産婦人科医の招へいに努める。 ⑥高齢出産が増える中で、実家の支援が望めない妊婦が安心して出産に臨めるために、産後ヘルパー等の育児サービスの充実を図る。 ⑦庁内プロジェクトチームを立ち上げ、子育て家庭のニーズを反映した新たな事業の創設及び実施に努める。	

【資料3-2】

※ 達成 = 令和3年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 未達成 A = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、令和4年度中に目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 B = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、今後数年度程度で目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 C = 上記に該当せず、現時点において、今後も令和3年度の目標値に達することが難しいもの

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標	基本的方向	(a) 数値目標 重要業績評価指標(KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづくりの 指標	(e) 男女共 同参画の 指標	(e) 実績値					(f) 令和3年度 目標	【令和3年度達成状況及び担当課評価】				
		No.	指標名				基準値	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績		令和3年度 実績	達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)	
							令和3年度 実績										
		22	保育所入所待機児童数	子育て支援課	○	○	13 (平成26年度)	36	7	7	5	5	0	未達成C	①核家族及び共働き世帯の増加等で低年齢児を中心に保育需要が高まり、保育所利用希望者が増えている。加えて、国による幼児期の教育・保育無償化により、さらに保育需要が高まってきている。 ②認定こども園の新規開園による保育定員の増加によって、平成30年度の待機児童数は大きく減少しており、確実に施設整備の効果が出ている。 ③平成31年4月、角田保育所の後継施設として角田光の子保育園が開園。今後も施設増設と保育士の確保ができる範囲内での限り多くの児童を受け入れていく。 ④令和2年4月の角田幼稚園の突然の休園により、3歳児以上の未就学児の受け入れ先が減少した。 ⑤施設の減少、共働き世帯の増加(共働き世帯の割合:平成30年度47.2%、令和元年度61.4%、令和2年度59.8%、令和3年度64.2%)による保育需要の高まりの影響等もあり、待機児童数はゼロに至っていない。	①保育所入所児童の利用調整を綿密に行い、効率的な施設利用となるよう努める。 ②女性の社会進出等により、0歳からの保育所入所希望者が増えていることから、企業内保育事業所、小規模保育事業所も含めた企業の参入を検討し、待機児童の解消に努める。	
		23	市内小中学校図書館の一人当たりの年度内貸出冊数	教育総務課			22.5 (平成30年度)	21.4	22.5	24	24.8	26.7	24	達成	①令和元年度以降一人当たり年間24冊(月2冊)の貸出が達成された。 ②令和3年度貸出冊数の小学校と中学校の平均貸出冊数は下記のとおり。 ・小学校全体一人当たり貸出数 41.66冊(前年度38.17冊) ・中学校全体一人当たり貸出数 3.64冊(前年度1.94冊)	小学校・中学校ともに前年度より貸出冊数が増加しているが、中学校になると極端に貸出冊数が減少していることから中学校での読書の習慣化が求められる。各中学校で朝読書や図書委員などを中心に取組みを行う。	
		24	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における平均獲得点数 ※【】は全国の平均	教育総務課			小学5年生 男子 50.2【50.0】 女子 51.6【50.0】 中学2年生 男子 48.7【50.0】 女子 48.1【50.0】 (平成26年度)	小学5年生 男子 48.6【50.0】 女子 50.4【50.0】 中学2年生 男子 48.4【50.0】 女子 47.4【50.0】	小学5年生 男子 48.2【50.0】 女子 50.2【50.0】 中学2年生 男子 48.9【50.0】 女子 49.9【50.0】	小学5年生 男子 48.3【50.0】 女子 48.4【50.0】 中学2年生 男子 48.8【50.0】 女子 47.4【50.0】	小学5年生 男子 46.7【50.0】 女子 50.3【50.0】 中学2年生 男子 50.3【50.0】 女子 48.9【50.0】	—	—	令和3年度の 全国の 平均獲得点数	未達成B	①小学5年生は、男子は全国平均獲得点数から3.3ポイント下回ったが、女子は0.3ポイント上回る結果となった。 ②中学2年生は、男子は0.3ポイント上回ったが、女子は1.1ポイント下回る結果となったが、令和元年度より上昇した。	①小学校・中学校ともに運動機会の確保に向けて継続的に取り組んでいく。 ②小学校では、児童が運動好きになるような授業づくりや体を使った自主的な遊びを促す場づくりに取り組む。 ③中学校では、生徒の多様性に対応し、生徒に自己肯定感や達成感を味わわせることができる授業づくり及び部活動経営に取り組み、運動意欲の喚起を図る。 ④小中学生とともに正しい生活習慣の確立を図る。
(2)	子育て支援によるワーク・ライフ・バランスの実現	25	審議会などへの女性委員の登用率	まちづくり政策課	○	○	18.0 (平成26年度)	24.0	27.5	28.2	20.2	22.4	40.0	未達成C	①審議会等の新設又は委員の改選・補充にあたり、積極的な女性委員の登用について所管課等に呼びかけを行った。 ②令和3年度は前年比+2.2%で微増。 ③令和2年度から新たに附属機関として位置づけられた「角田市行政区運営協議会」が委員総数93人相当に対し、女性委員数が0人であるため、女性割合が減少している。 【令和3年4月1日時点(令和3年度実績)】 審議会等31件、委員等数388人、うち女性87人 女性の割合22.4% 【令和4年4月1日時点(令和4年度実績)】 審議会等30件、委員頭数349人、うち女性60人 女性の割合17.19%	目標達成には至らなかったが、引き続き所管課等への呼びかけをこたあることに行うほか、政策・方針決定過程への女性参画の必要性についての啓発を更に積極的に実施する。	
		26	角田市役所における男性職員の育児休業取得率	総務課	○	○	0.0 (平成26年度)	9.1	0.0	0.0	14.3	0.0	10.0	未達成C	対象者(3歳未満の子を持つ男性職員)は13名であり、育児休業を取得した職員はいなかった。	出産休暇の取得促進については、職員にも浸透してきたと思われるが、育児休業の取得までには至っていない。育児休業が取得しやすい組織風土を醸成していくために、配偶者の出産を控えた職員へ、引き続き制度の周知等を行っていく。	
		27	新角田市男女共同参画計画の策定【累計】	まちづくり政策課	○		- (平成26年度)	-	策定	-	-	-	-	(平成30年度に策定済み)	①市民意識調査の結果等を基に、国及び県の計画を勘案し、平成31年3月に「角田市男女共同参画計画(第2次)」を策定した。 ②本計画は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づく基本計画、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく推進計画と一体的に策定した。	①本計画に掲げる男女共同参画に関する施策を着実に推進していくため、横断的な連携・調整を図りながら、全庁的に取り組む。 ②本計画に掲げる男女共同参画に関する指標の達成状況を毎年把握し、進捗管理を行いながら、取組内容の改善を図る。	

【資料3-2】

※ 達成 = 令和3年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
 未達成 A = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、令和4年度中に目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 B = 現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、今後数年程度で目標値に達することが見込まれるもの
 未達成 C = 上記に該当せず、現時点において、今後も令和3年度の目標値に達することが難しいもの

角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標	基本的方向	(a) 数値目標 重要業績評価指標 (KPI)		(c) 担当課	(d) 長総 まちづくりの 指標	男女共 同参画の 指標	(e)					令和3年度 目標	(f)					
		No.	指標名				基準値	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績		令和3年度 実績	達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)		
							達成状況 (※参照)	達成状況分析	今後の取組(改善)									
4	安全・安心で住み続け たい「まちづくり」	④ 角田市に住み続けたいと思う市民の割合 (角田市地方創生に関する 市民アンケート調査)		-			52.4 (平成27年度) %	- %	- %	- %	60.4 %	- %	70.0 %					
		(1) 健康に暮らせる「まちづくり」	28	ウォーキングイベントの参加者数	健康長寿課	○	○	1,102 (平成26年度) 人	1,205 人	1,227 人	437 人	542 人	448 人	1,400 人	未達成C	①平成29年度からは「スマートかくだチャレンジ事業」の健康ポイント事業のウォーキングとしての位置付けで実施している。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大規模イベントが中止になり、令和2年度に行われたウォーキングステーションを活用したイベント等もなかったため、前年度比で微減となった。 ②活動量計や体成分分析器等を使用してデータを見る化したことで、健康意識の向上につながっている。	①庁内他部署や自治センター、地区振興協議会、行政区などと連携を図り、地区等で実施するウォーキングイベントの周知を図る。 ②体成分分析器等の活用によるデータの見える化のさらなる周知を図り、健康づくりに関心をもってもらうきっかけづくりをしていく。 ③令和元年度に整備されたウォーキングステーションの活用・周知を図る。	
		(2) 協働による「まちづくり」	29	(仮称)角田市民自治基本条例の制定【累計】	まちづくり政策課	○		- (平成26年度)	-	-	-	-	-	-	(制定の予定なし)	※制定の予定なし	※制定の予定なし	
		(3) 環境に配慮した「まちづくり」	30	LED防犯灯の設置数【累計】	防災安全課			967 (平成26年度) 基	1,237 基	1,321 基	1,386 基	1,462 基	1,504 基	1,492 基	達成	①令和4年3月末現在、防犯灯総数は1,703基でその内訳は、蛍光灯型199基、LED型1,504基で、LED比率は88.3%となっている。 ②みやぎ環境交付金を活用し増設している。	①みやぎ環境交付金を活用し、さらに防犯灯のLED化を推進する。	
		(4) 安心で暮らしやすい「まちづくり」	31	阿武隈急行線における市内4駅の年間定期外利用人数	まちづくり政策課			186,181 (平成26年) 人	185,041 人	187,066 人	133,771 人	74,954 人	89,580 人	130,326 人	未達成B	年間定期外利用人数は前年度実績比約20%増となったものの、長引く新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響や令和4年3月16日に発生した福島県沖地震被害による連休により、令和3年度目標値の69%程度に留まった。	台風や地震などの度重なる災害や、新型コロナウイルス感染症感染拡大による乗り控えなど、阿武隈急行の経営は厳しさを増している。地域の足を守るため、各種ツアー等の企画運営に努め、利用促進策を継続していく。	
			32	幹線市道改良率【累計】	都市整備課	○		89.1 (平成26年) %	89.3 %	89.3 %	89.5 %	89.5 %	89.5 %	89.5 %	未達成B	令和元年東日本台風に伴う災害復旧優先のため、通常の道路改良については、人的側面・財政的側面の両面から大幅な縮小となったことなどから、目標達成はできなかった。 規格改良済(m)/実延長(m)=改良率(%) 令和3年度 128,725.6 / 143,901.9 = 89.5	①今後とも道路網整備及び交通安全上、幹線道路の改良に努める。 ②幹線道路の見直しをする。 ③現在、令和元年東日本台風の影響で延伸となった事業に一部着手しており、当該事業が完了すれば目標値を達成する見込みである。	
			33	防災対策の市民満足度 (角田市第5次長期総合計画後期基本計画 市民意識調査)	防災安全課	○	○	61.8 (平成26年) %	- %	- %	- %	31.8 %	- %	70.0 %	未達成C	令和2年度に実施した市民アンケート調査の結果により実績値が確定し、満足度は31.8%と目標を大幅に下回り未達成となった。 令和元年東日本台風の直後に実施したアンケート調査であったため、影響を受けたものと思われる。	防災対策に関する市の取組について、地区防災計画を策定する中で自主防災組織へ周知したり、出前講座などを通じて市民へ周知することで、防災意識を高め、防災対策の市民満足度の向上を目指す。	
			34	自主防災組織の組織率【累計】	防災安全課			81.0 (平成26年) %	93.5 %	94.6 %	94.6 %	94.6 %	89.2 %	100.0 %	未達成C	①令和3年度は、自主防災組織の結成実績はなく、複数の行政区で結成していた組織が解散(全93行政区のうち83行政区について結成済み)。 ②結成された自主防災組織に対し、防災対策用資機材等整備に要する補助金を交付している。 200,000円+世帯数×100円	残る10行政区についても、引き続き行政区長に自主防災組織の必要性を説明し、100%となるように結成を促していきたい。	
			35	(仮称)角田市国土強靱化地域計画の策定【累計】	まちづくり政策課	○		- (平成30年度)	-	-	-	-	-	策定	策定	達成	令和2年5月に国土強靱化地域計画策定支援業務委託契約を締結し、施策分野別方針や国土強靱化に資する事業等について、関係各課との協議を重ね、令和3年4月に策定した。	施策の分野ごとに評価指標となる「施策分野別指標」を設定しており、その達成状況等について、毎年度評価を行い、計画の進捗管理を行うことで計画的な事業の進行を図り、強靱な地域づくりを推進していく。